



## バトン全国大会で入賞

全日本選手権大会ペア部門で8位に入賞

3月に大阪市で開かれた全日本バトントワリング選手権大会で、市立第六中学校2年生の小永吉彩芽さんが「ペア部門」で8位に入賞しました。

関西大会では体の近くでバトンを回す「コンタクト」の演技が評価されて優勝、全国大会への出場を決めました。

小永吉さんは「演技が楽しくなってきた。次は全国大会で1位を目指したい。来年は世界大会にも出場したいです」と抱負を語っています。



## ロボット競技の世界大会へ

5月上旬にスペインで開催

2月に東京都で行われたFLL2015 JAPAN OPEN (青少年の国際的なロボット競技会) で所属チームが特別賞を受賞し、世界大会へ出場を決めた松岡風我さん(高宮あさひ丘、帝塚山中学校3年生)が3月25日、北川市長を訪問しました。

大会では研究発表とロボットの製作に取り組み、鹿のふんからガラスをつくる研究が高く評価されました。

「発表は英語なので猛勉強中です。ロボットも評価されるよう頑張ります」と意欲を見せてくれました。



いしぶみ

碑

## 南窓の杜(もり)碑 (深北緑地)

深北緑地の「桜の園」に「南窓の杜 33本のさくらに校史を刻んで」と刻まれた小ぶりの碑が建てられています。統合で閉校になった「府立南寝屋川高等学校」の記念碑です。

同校は昭和48年に河北西町で開校しました。平成18年に府立大東高等学校と統合、府立緑風冠高等学校として再スタートしました。校舎は旧大東高に置かれています。

碑文の「南窓の杜」は、旧校舎の南の窓から望むことができた深北緑地のことでしょうか。ここに学校の歴史と同じ33本の桜を植え、永遠に校名を留めようとしたようです。

青春の一時期を過ごした高校が閉校になるというのは、卒業生にとって寂しいことではないでしょうか。この碑の前で同窓会を開いている卒業生もいるのではないのでしょうか。